

現地は、矢川小字百刈の長坂地区に隣接している所で、倒木が多く嶮岨な山中に、高さ約1メートル幅約50センチの土壘が、昔の面影を残し尾根から谷の方にと連なっていました。構造が土壘構築であるので、経年による風化などで完全な姿を留めてはいませんが、一見してそれと判るもので、先人の苦闘の歴史が刻み込まれた、極めて貴重な文化遺産です。

現状の保存を期待してやみません。

垣の始点、終点は杉森さんにも分からぬいそうですが、その規模は相当長なものであることが



23年度 M・D認定式

23年度 M・D認定式

しし垣（鹿猪垣・鹿垣）とは、害獸の侵入を防ぐ目的で山と農地との間に石や土などで築いた垣のこと、先人達が、苦労して、害獸から農作物を守ってきたという苦労の証拠を、今に伝えるものであり貴重な文化遺産でもあります。

一口にシシ垣といつても色々な種類があり、規模も集落全体を囲んだ長大なものから、個人の田畠を守る小さななものまで、さまざまなものがあります。

先人の遺産シシ垣

新猿聞

編集・発行
山村 準
el:0595-63-1725
Email
un.y@asint.jp

には限界があります。

A dog wearing a yellow vest stands in a field, looking up at a person in a white shirt who is covering their face.

ハナレザルを見つけてそのまま放っておくと、居着いてしまいます。見つけたら必ず、集落総出で追い払うことが重要です。

「人里に近づけば危ない」という意識をサルに持たせることが大事です。

今後、夏野菜などに被害が及ぶようなことがちれば、捕獲も検討しなければなりません。

群に対しての対策は



大人になつた雄は群れを離ることは二ホンザルの習性です。

は、群れを離れて独り立ったばかりの4～5歳の娘です。

サリ
ています。
ハナレザリ

矢川には
体型が大小の
2頭が出没し

注 ます。

意 最近 バ
レザルの出没
が相次いで、

A medium shot of a man in a dark suit standing in a grassy field, looking through a large telescope mounted on a tripod. He has white hair and is wearing glasses. In the lower-left foreground, a person in a blue jacket is crouching, operating a professional video camera on a tripod, filming the man. The background shows a dense line of trees under a clear sky.

A person wearing a red long-sleeved shirt and dark pants stands next to a white horse with black spots (Dalmatian). The horse is wearing a yellow halter and lead. They are in an outdoor setting with trees and a building in the background.

A person stands next to a white van, holding a red object. A dog wearing an orange vest stands in front of them. The van has a license plate that reads "YU-174".

リードの活用など相当充実してきましたが、ハナレザルに対する対策が全く立ち去りません。これらハナレたちは、群よりもはるかに自由に驚くほどの広域を遊動しています。早急な防除対策が望れます。

B群移動状況

左図はB群3月の移動状況を示しています。

2月頃からR165から南方、西谷・長坂・星川方面に出始め通常に戻りつつあります。

だが、出没率は依然としてR165北方の三本松辺が多いです。

MDの効果で矢川近辺は群の出没を示す矢印がありませんが、ハナレザルの出没が相次いでいます。

ハナレサルは、事前情報は目視以外に無く対策に手を焼いています。

人慣れが進み民家に平気で侵入し、グリラ的な被害が出ています。

矢川地区では、納屋に保存してある玉葱、芋などに被害が出ています。

納屋には必ず施錠を施



B群出没状況グラフ

Y-axis: 25, 20

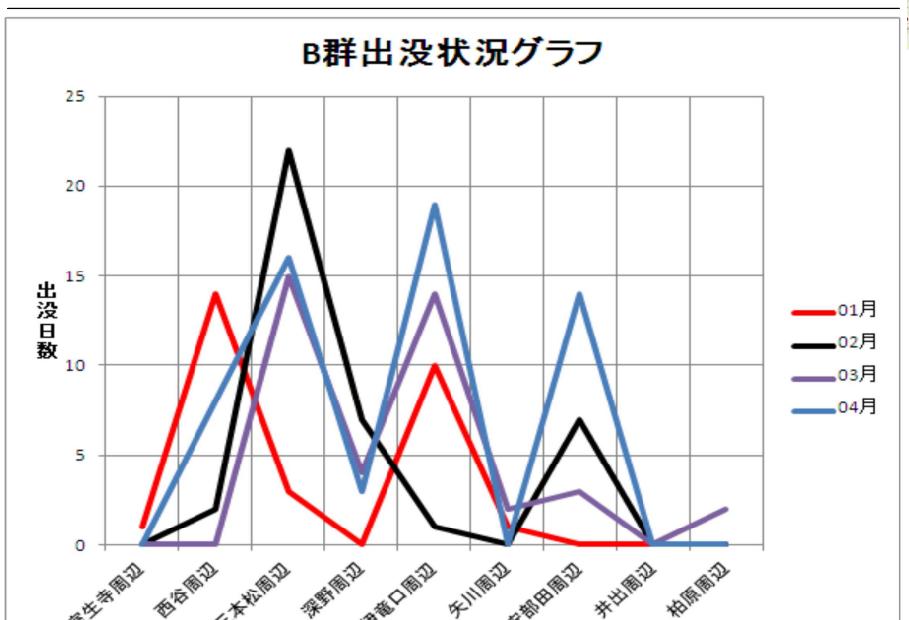
日付	活動度
4月16日	約22
4月18日	約18

花の郷滝谷
花しうふぶ
大和
生口・大野
赤目滝
赤目八ヶ浦
キャンプ場
大和
30
31
4
4月16日
モンキードッジ
楽部第二回総会開
奈良県宇陀市室
く森の郷で第
総会を開催。
平日にもかか
ず名張・宇陀両
会議員を含む会
名出席のほか、
として「宇陀名
MDC 総会

The chart displays the number of sightings (Y-axis, 0 to 15) across different locations (X-axis) for four months (01月 to 04月). The legend indicates:

- 01月 (Red line)
- 02月 (Black line)
- 03月 (Purple line)
- 04月 (Blue line)

月	1月	2月	3月	4月
生寺周辺	1	0	0	0
西谷周辺	14	2	0	0
一本松周辺	0	12	0	0
深野周辺	3	7	4	0
河原口周辺	0	10	14	0
天川周辺	0	1	2	0
伊豆田周辺	0	1	3	14
井出周辺	0	0	0	0
柏原周辺	0	0	2	0



国の予算関係もあり從来と同様の育成方法になるかは未だ協議段階」との説明もあった。
MDCが昨年来より「MD活動区域が名張・宇陀の両市域であること」を要望していた点について、両市をまたがって追い払い活動が出来る『広域認定犬』という制度を速やかに取り入れて頂いた事はありがたいことである。しかし1・2期MD19頭から本年3月認定の3期生3頭を加え21頭のMDが揃っているが、両市にはまだまだ集落全体での獣害対策の取り組みが浸透していないという課題もある。